

令和元年度 山形県立博物館 プライム企画展

華のやまがた

花き産業、その美の創造

杉崎文子・画

2019
6/22 sat
— 9/23 mon

開館時間 9時～16時30分（16時まで入館）※6月22日（土）のみ、第3展示室は10時開展。
休館日 月曜日（7月15日（月）・9月16日（月）・9月23日（月）は祝日につき閉館、翌7月16日（火）・9月17日（火）は休館。
8月5日（月）・8月12日（月）は特別開館、9月3日（火）は館内清掃により臨時閉館。）
入館料 大人300円（20名以上の団体150円）/ 学生150円（20名以上の団体70円）
※高校生以下無料、障がい者の方と付添いの方は無料。「学生」には専門学校生を含む。

山形県立博物館

主催 山形県立博物館
協力 旧米沢高等工業学校本館記念館 JA全農山形 首都大学東京牧野標本館 東北大学史料館
練馬区立牧野記念庭園記念館 山形打刃物工業協同組合 山形県花き生産連絡協議会
山形県立村山産業高等学校 山形生花商組合 (有)杉崎ボタニカルアート工房 個人ほか

〒990-0826 山形市霞城町1番8号

TEL 023-645-1111 FAX 023-645-1112 URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

山形県は、米をはじめ果物などの農産物で多数のブランドを確立している、全国有数の農業立県です。なかでも本県花き栽培においては、「最上紅花」の栽培から始まり、現代までその高い技術が受け継がれています。現在は、バラ、トルコギキョウ、アルストロメリア、ストック、りんどう、啓翁桜などが県内各地で生産され、多くの生産者の努力により、山形の花きは全国的にも知られる存在となっています。

本展示会は、本県花き生産の現状や歴史、またそれに関わる産業や文化、紅花の赤色素研究の歴史等について紹介します。開催期間中には博物館入口に本県で栽培された生花を飾ります。「華のやまがた」の美に触れ、その奥深さをご体感ください。

山形県立博物館

※各行事の実施時間・場所については、以下のとおりです。
 時間：午前の部 10時～12時
 午後の部 13時30分～15時30分
 場所：展示解説会 第3展示室
 その他 すべて本館講堂にて

関連行事

記念イベント

- ①紅花に親しむ
7月15日(月・祝) 9時30分～15時30分
講師：大山るり子氏(フラワー&手づくりの店「私の部屋」代表)
山形県立米沢工業高等学校機械生産類生産デザインコースのみなさん
- ②はじめてのフラワーアレンジメント(小学生対象)
8月3日(土) 午前の部/午後の部
各回定員20名 ☆事前申込 有有料
講師：山形県立天童高等学校華道部のみなさん
- ③世界で一つ!紅花で染める皮細工(小学生対象)
8月4日(日) 午前の部/午後の部
各回定員20名 ☆事前申込 有有料
講師：塚野和人氏(Kiwami Leather 代表)
- ④フラワーアート～植物画を描く～(一般成人対象)
9月8日(日) 午前の部 定員10名 ☆事前申込
講師：杉崎紀世彦氏・杉崎文子氏(㈱杉崎ボタニカルアート工房)

記念講演会

- 「曾祖父、植物の精・牧野富太郎を語る」
 9月8日(日) 13時30分～15時00分
 定員40名 ☆事前申込
 講師：牧野一淳氏(練馬区立牧野記念庭園記念館学芸員)

展示解説会&フラワーアレンジメント

展示解説会は、午前の部10時～/午後の部13時30分～各回20分程度で、どなたでも参加できます。
 フラワーアレンジメントは、各回定員10名。
 講師：フラワーアレンジメントインストラクター 今野朋子氏
 ☆事前申込 有有料

- ①6月22日(土) 午後の部のみ
- ②7月7日(日) 午前の部/午後の部
- ③7月28日(日) 午前の部/午後の部
- ④8月25日(日) 午前の部/午後の部
- ⑤9月23日(月・祝) 午前の部のみ

☆事前申込については、すべて当館HPより受け付け、定員になりしだい締め切りとさせていただきます(先着順)。
 各イベントの申込受付開始日時は以下のとおりです。

フラワーアレンジメント①②③⇒6月12日(水) 10時
 ④⑤⇒8月7日(水) 10時
 記念イベント②③⇒7月17日(水) 10時
 記念イベント④および記念講演会⇒8月21日(水) 10時

有有料については、材料費として500円を当日受付時にいただきます。

※すべての関連行事には、別途入館料が必要です。

主な展示内容と展示資料

山形の花き産業について

- ・山形県の花き産業の現状
- ・啓翁桜などの新しい品種への取り組み
- ・山形打刃物の歴史

展示資料：花き標本、山形打刃物 ほか
 紅花の赤とはなにか～探求の歴史

- ・黒田チカ博士の業績
- ・日本における紅花色素研究の歴史
- ・新品種紅花「夏祭」の開発

展示資料：黒田チカ研究標本(東北大学史料館) ほか
 花の美をもとめて

- ・植物学者「牧野富太郎」と植物画
- ・池田成功ラン図譜コレクション

展示資料：牧野富太郎作製標本「ベニバナ」

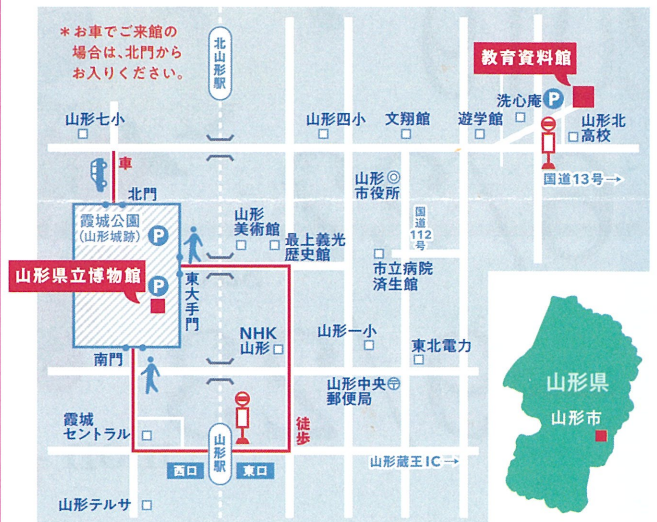
池田成功ラン図譜 ほか



クリスマスローズ
 写真資料提供：堀切園(山辺町)



牧野富太郎作製標本「ベニバナ」
 写真資料提供：首都大学東京牧野本館



交通案内(山形県立博物館本館)

- 徒歩 JR山形駅西口より10分
 車 山形道山形蔵王ICより5Km(約15分)
 東北中央道山形中央ICより3Km(約10分)
 ※霞城公園北門からお入り下さい。